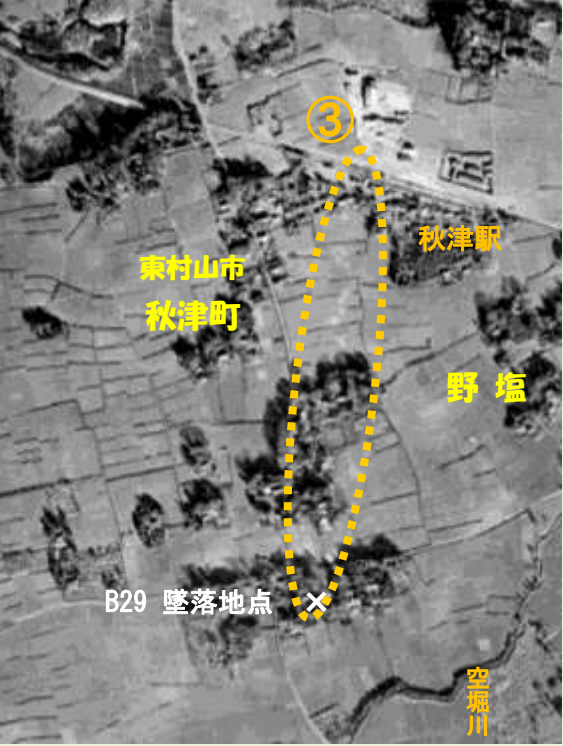


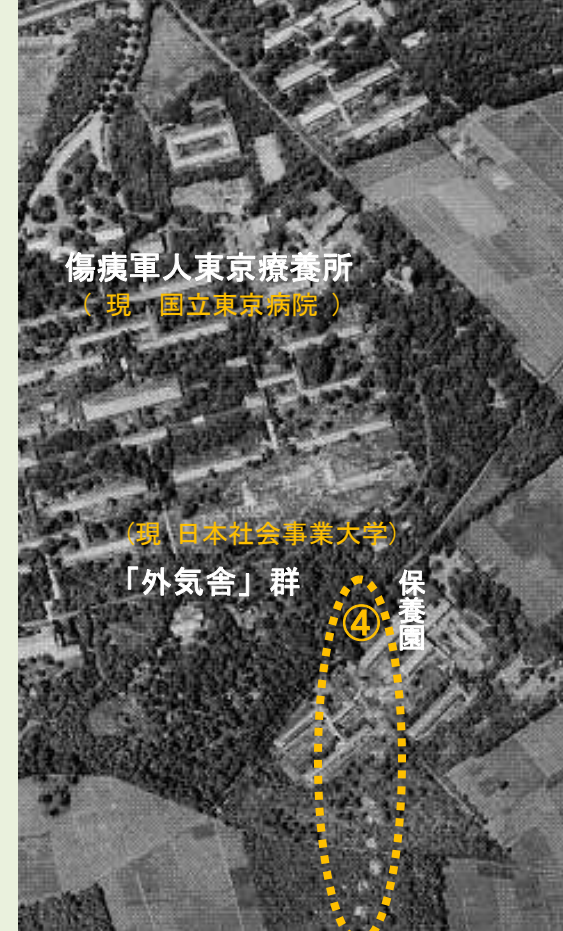
空中写真に見る着弾痕跡

③は1945年4月2日の空襲のとき、武蔵野鉄道(現西武池袋線)秋津駅構内に、爆弾2発が落下して破壊されたため、池袋・清瀬間で折り返し運転をしたと、「東京大空襲戦災誌 第3巻」に記録されています。



国土地理院発行「空中写真画像データ」  
(1946年3月9日 米軍撮影 USA-M68-A-6-2-152)

④は現在の社会事業大学付近の着弾痕跡がある区域です。当時の様子が「傷痍軍人東京療養所」の当直日誌に記されています。楕円の点線の中に見える白い斑点が着弾痕跡です。



国土地理院発行「空中写真画像データ」  
(1947年7月24日 米軍撮影 USA-M380-104)

「1945(昭和20)年の清瀬を歩く」清瀬の戦時遺跡マップ②

清瀬市南西部(野塩・松山・竹丘・梅園) ~ 西武線沿線と病院街、多くの結核療養所がおかれた芝山 ~ ※今の松山・竹丘・梅園を芝山と呼んだ

太平洋戦争中の清瀬のようすを「戦時遺跡マップ」にしてみました。今の清瀬と比べながら、歩いてみませんか。



**●圓福寺無縁供養塔**：  
1945(昭和20)年3月10日の東京大空襲で被災した人びとが、都心の病院から、清瀬病院に送られてきました。治療もむなしく亡くなられ、身寄りのわからない33体がここに埋葬されています。  
この無縁供養塔の側面に「戦争の傷跡を知らない貴方たちへ」と題した平和への熱い思いが込められた説明板あります。



小金井街道

**●平和観音像建立**  
1960(昭和35)年、亡くなったアメリカ軍兵士の冥福と恒久の平和を念願して、小俣権次郎・権太郎さん親子が、墜落地点に建立しました。(東村山市秋津町一丁目)  
また、2014年4月2日に、新しく祈念の銘文プレートが設置されました。(写真右側の銅版)



**●清瀬病院**  
現在の国立看護大学校と清瀬中央公園付近に、清瀬病院がありました。1945(昭和20)年3月中旬、東京大空襲の時に被災して火傷した患者を多数収容し治療しましたが、後日、たくさんの人が亡くなりました。  
4月2日清瀬空襲時に被弾し、患者2人が死亡し看護婦1人が負傷しました。清瀬中央公園には「ここに清瀬病院ありき」の記念碑があります。



小金井街道

**●当時の「外気舎」**  
日本社会事業大学の辺りに、72棟あった「外気舎」の1棟を、東京病院の西側の庭に移築して保存してあります。



**●平和の塔**  
図書館通りの中央公園入口を入ると、すぐ北側に「平和の塔」が見えます。  
日中戦争の始めから終戦までの戦没者と、戦災や外地からの引き揚げの途中で亡くなった人々の霊を祀り、真の平和と社会の繁栄を願って、1974(昭和49)年に建てられました。  
デザインは東京スカイツリーのデザイン監修をされた故澄川喜一さん。



清瀬と空襲

1945(昭和20)年4月2日の早暁、清瀬がアメリカ軍の重爆撃機 B29 に空襲されました。中島飛行機武蔵製作所(現在の武蔵野市中央公園付近一帯)を目標にした6回目の大規模な空襲でした。  
この空襲では、B29 がそれまでの約2倍で過去最多の弾薬を積み込んできました。そして照明弾と時限爆弾とが併用されたので、空襲が終わった後でも住民はいつまでも不安でした。  
当時の「傷痍軍人東京療養所」の医師が記した貴重な記録が残されています。

B29 墜落 … 跡地に平和観音像

1945(昭和20)年4月2日、清瀬病院に爆弾を落としたアメリカ軍の B29 爆撃機1機が、野塩橋の西方(東村山市秋津町一丁目)に墜落されて、搭乗員11名全員が死亡しました。そのほとんどは20代の若者でした。戦後、十年あまり経ってその墜落跡地に「平和観音像」が建てられました。

東京大空襲と清瀬

1945(昭和20)年3月10日の東京大空襲で火傷した人たちが、清瀬に運ばれてきて、清瀬病院で治療を受けましたが、大勢が破傷風などで亡くなりました。そのうちの身寄りのわからない33体の遺体が野塩の圓福寺に埋葬されています。

「傷痍軍人東京療養所」の当直日誌に見る清瀬空襲

4月2日(月) 宮本  
早朝当所より、看護婦5名救急班として出勤。郵便局方面に埋没仮死十数名。保養園・清瀬病院に爆弾落下被害あり。  
当所にも近くに爆弾投下、目下外気五寮より保養園にかけて非常区域を命じ、出入りに厳重なる注意をうながす。  
今なお時限爆弾の炸裂する音響所内を振動させつつあり。無気味なり。(以下略)  
「傷痍軍人東京療養所」の当直日誌(東京病院所蔵)要約。

注記  
当時郵便局は現上清戸一丁目にありました。左の地図と空中写真④にある「保養園」付近が着弾の区域です。外気五寮とは「外気舎」のひとつです。時限爆弾は250kg爆弾が、接地後数分から数時間経って炸裂するように、信管の時間をずらして設定したもので、いつどこで炸裂するのかかわからないので、住民にはいつまでも恐怖感が残ったとのこと。

編集・発行 清瀬市平和祈念展等実行委員会

事務局：清瀬市地域振興部市民協働課協働係  
〒204-8511 東京都清瀬市中里5-842  
電話：042-497-1803(直通)

(2024年2月)